

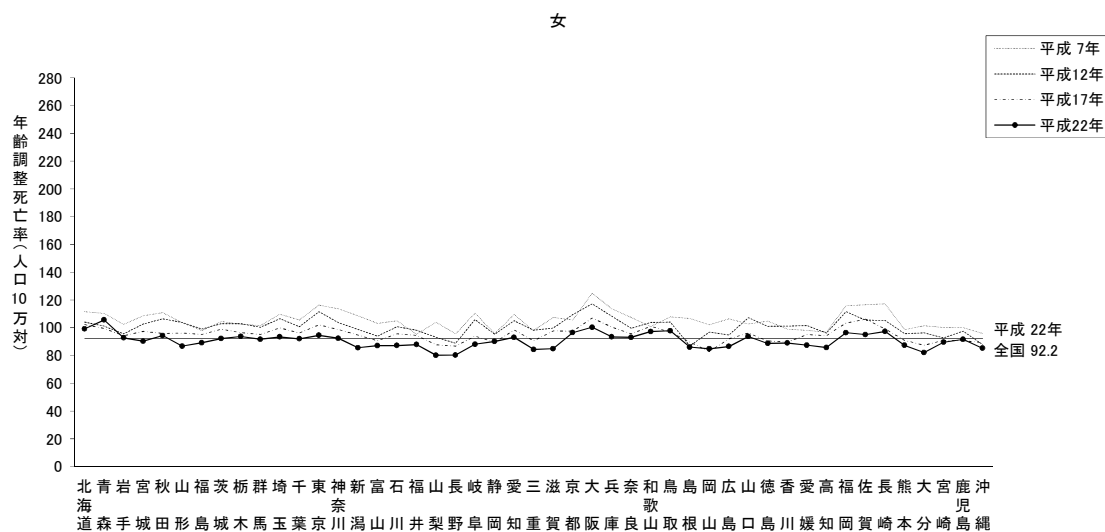
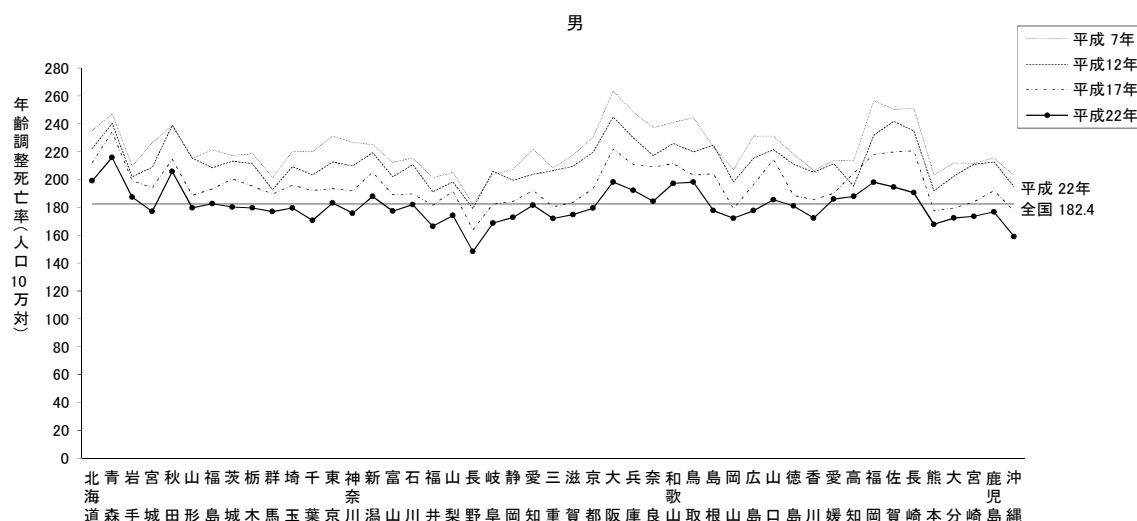
4. 主な死因の都道府県別年齢調整死亡率の年次比較

(1) 悪性新生物

平成 22 年の年齢調整死亡率をみると、男は長野、沖縄、福井等で低く、青森、秋田、北海道等で高くなっており、女は山梨、長野、大分等で低く、青森、大阪、北海道等で高くなっている。

平成 17 年と 22 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 197.7 から 182.4、女は 97.3 から 92.2 と低下しており、都道府県別では、男は全都道府県で、女は 42 都道府県で低下している。(図7)

図7 悪性新生物の都道府県別年齢調整死亡率の年次比較
—平成7・12・17・22年—



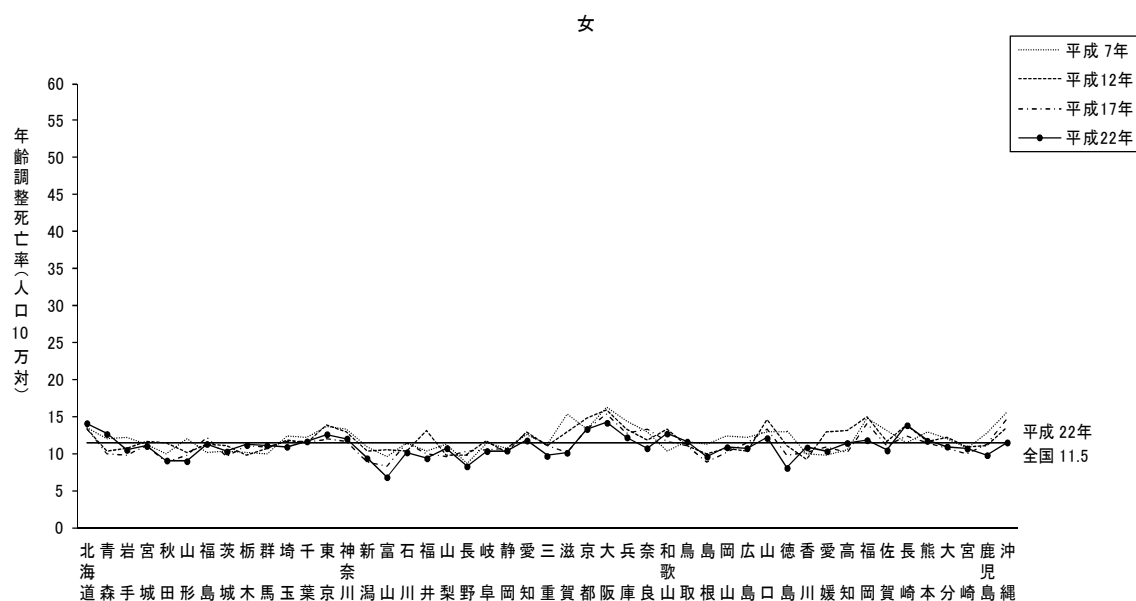
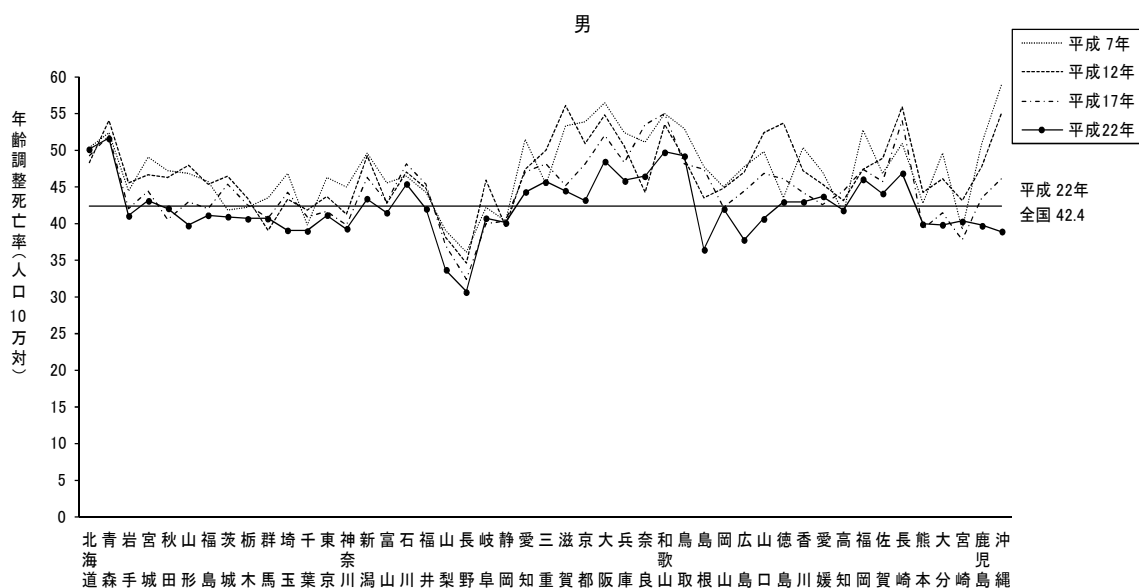
○肺の悪性新生物

平成 22 年の年齢調整死亡率をみると、男は長野、山梨、島根等で低く、青森、北海道、和歌山等で高くなっており、女は富山、徳島、長野等で低く、大阪、北海道、長崎等で高くなっている。

平成 17 年と 22 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 44.6 から 42.4、女は 11.7 から 11.5 に低下しており、都道府県別では、男は 39 都府県で、女は 24 府県で低下している。(図8)

注:肺の悪性新生物は「気管、気管支及び肺の悪性新生物」をいう。

図8 肺の悪性新生物の都道府県別年齢調整死亡率の年次比較
—平成7・12・17・22年—

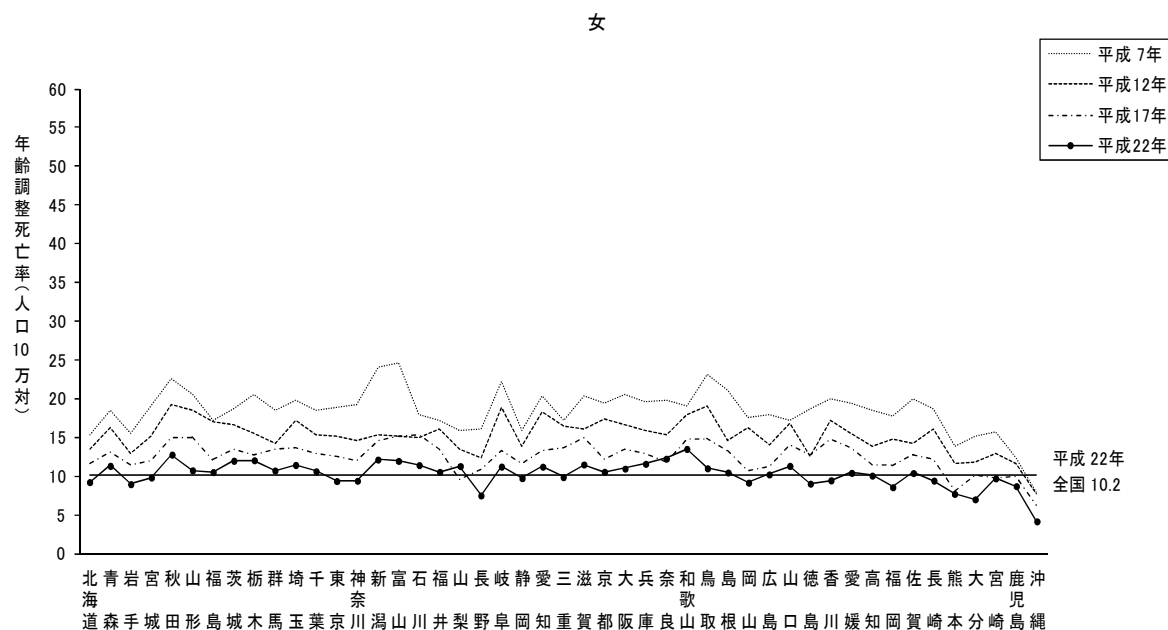
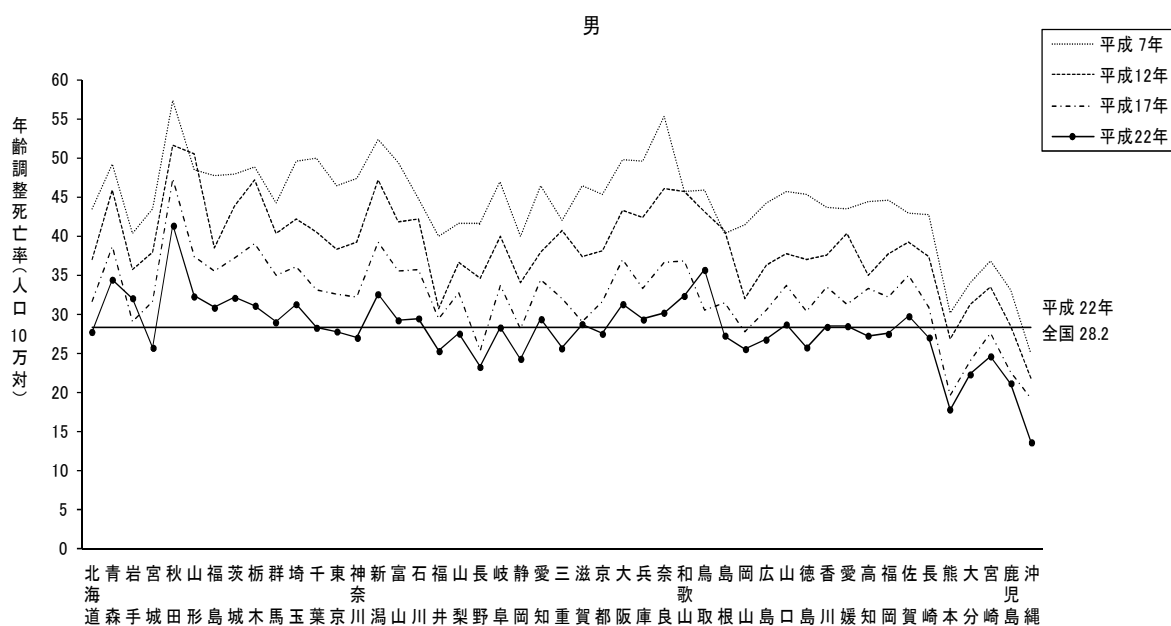


○胃の悪性新生物

平成 22 年の年齢調整死亡率をみると、男は沖縄、熊本、鹿児島等で低く、秋田、鳥取、青森等で高くなっており、女は沖縄、大分、長野等で低く、和歌山、秋田、奈良等で高くなっている。

平成 17 年と 22 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 32.7 から 28.2、女は 12.5 から 10.2 と低下しており、都道府県別では、男女とも 45 都道府県で低下している。(図 9)

図9 胃の悪性新生物の都道府県別年齢調整死亡率の年次比較
—平成7・12・17・22年—



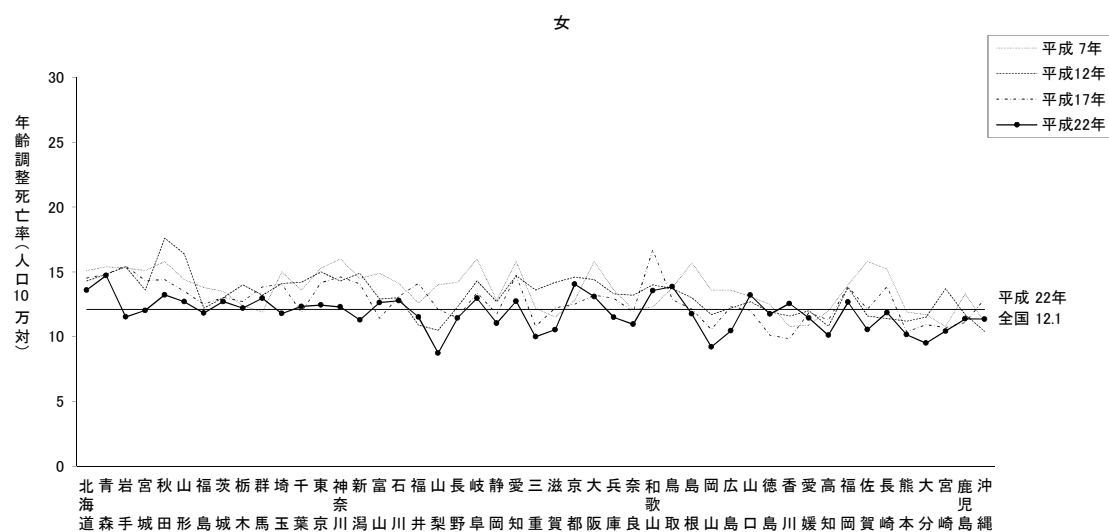
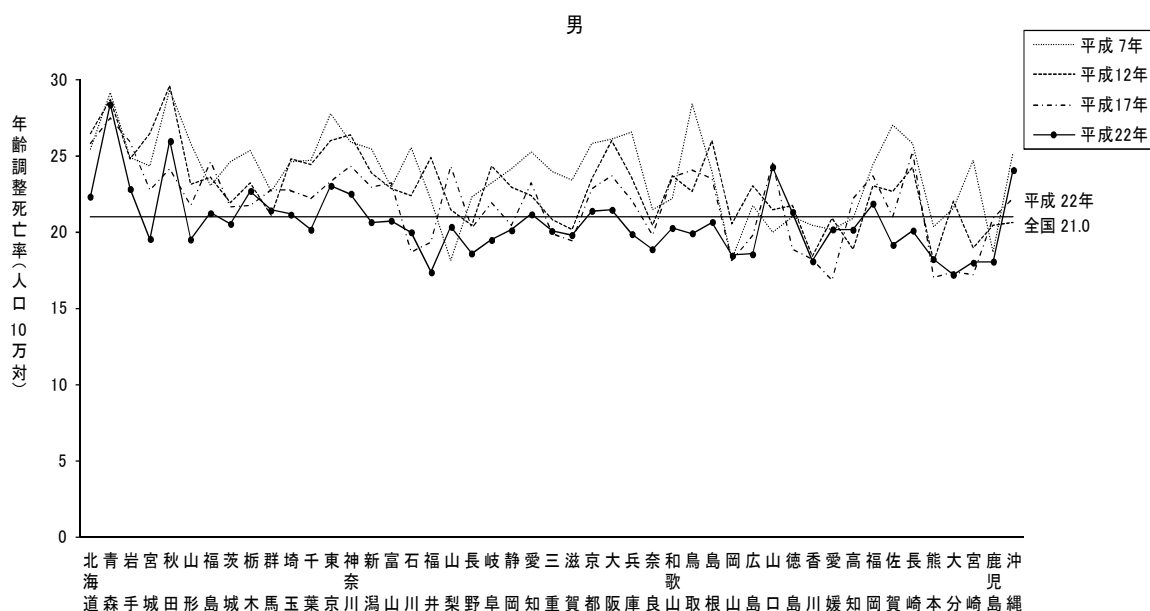
○大腸の悪性新生物

平成 22 年の年齢調整死亡率をみると、男は大分、福井、宮崎、鹿児島等で低く、青森、秋田、山口等で高くなっており、女は山梨、岡山、大分等で低く、青森、京都、鳥取等で高くなっている。

平成 17 年と 22 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 22.4 から 21.0、女は 13.2 から 12.1 と低下しており、都道府県別では、男は 35 都道府県で、女は 39 都道府県で低下している。(図 10)

注：大腸の悪性新生物は「結腸の悪性新生物」と「直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物」をいう。

図 10 大腸の悪性新生物の都道府県別年齢調整死亡率の年次比較
—平成7・12・17・22年—

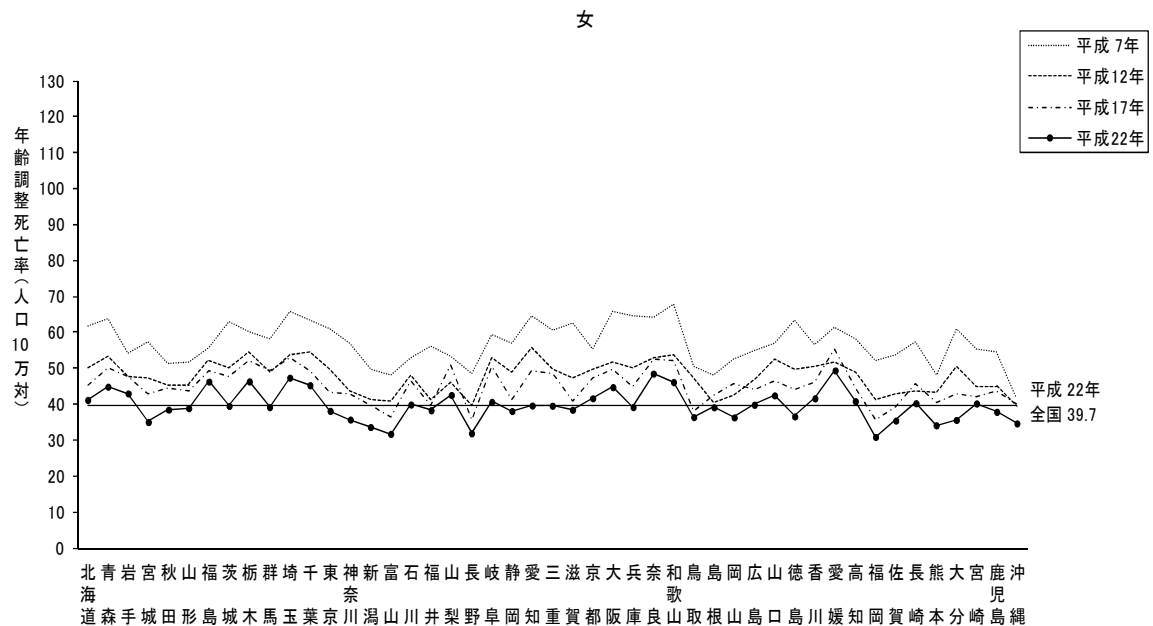
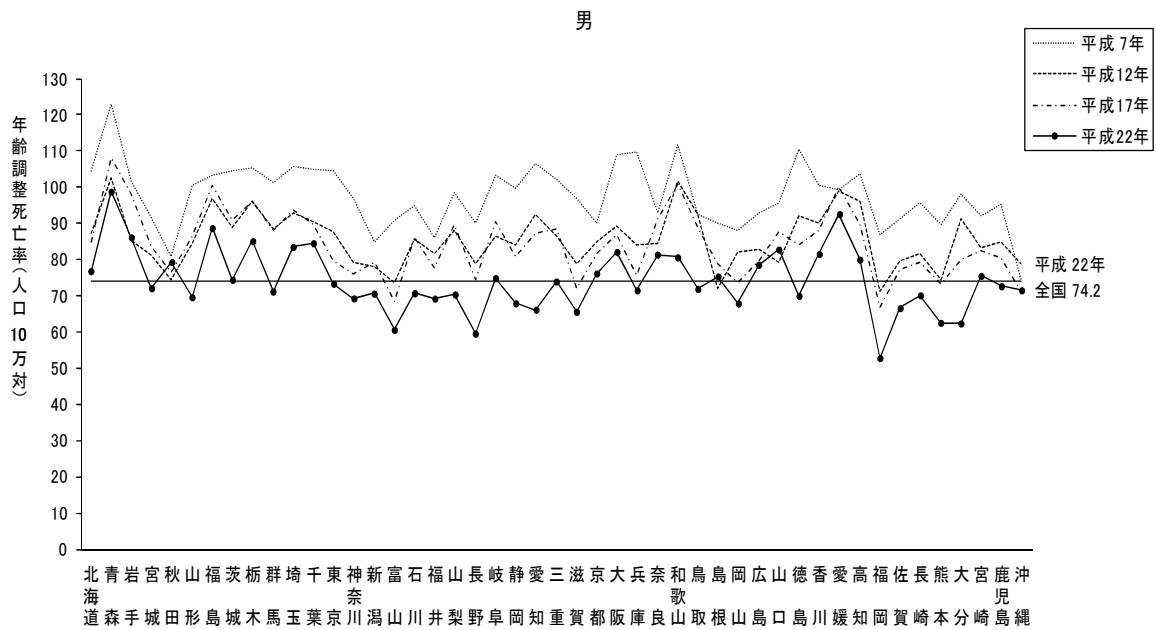


(2)心疾患

平成 22 年の年齢調整死亡率をみると、男は福岡、長野、富山等で低く、青森、愛媛、福島等で高くなっており、女は福岡、富山、長野等で低く、愛媛、奈良、埼玉等で高くなっている。

平成 17 年と 22 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 83.7 から 74.2、女は 45.3 から 39.7 と低下しており、都道府県別では、男は 45 都道府県で、女は全都道府県で低下している。(図 11)

図 11 心疾患の都道府県別年齢調整死亡率の年次比較
—平成7・12・17・22年—

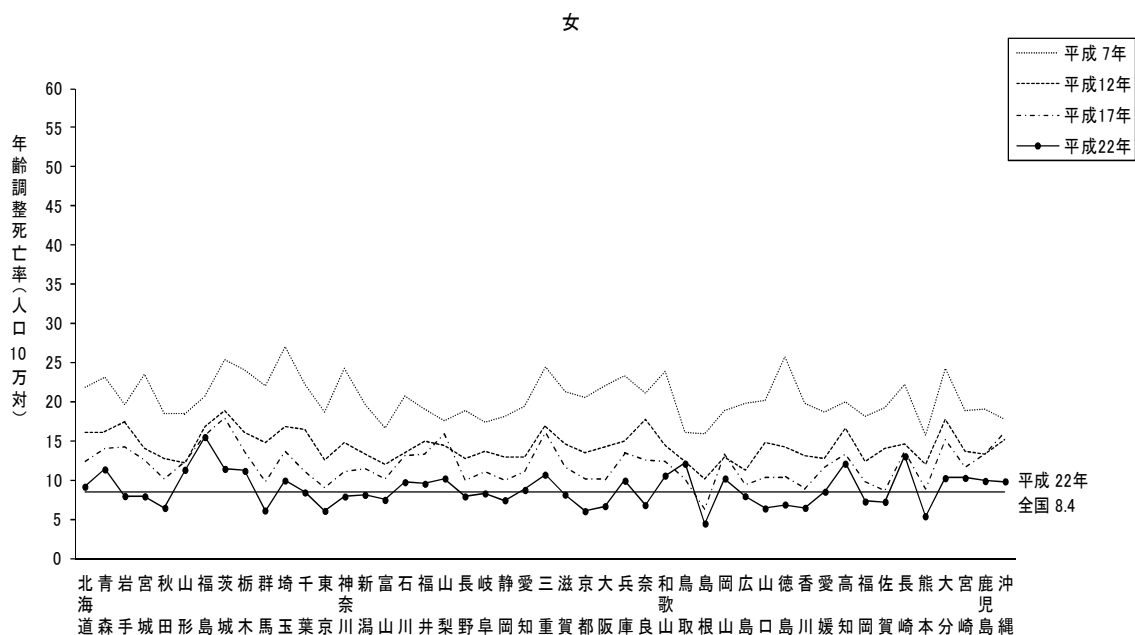
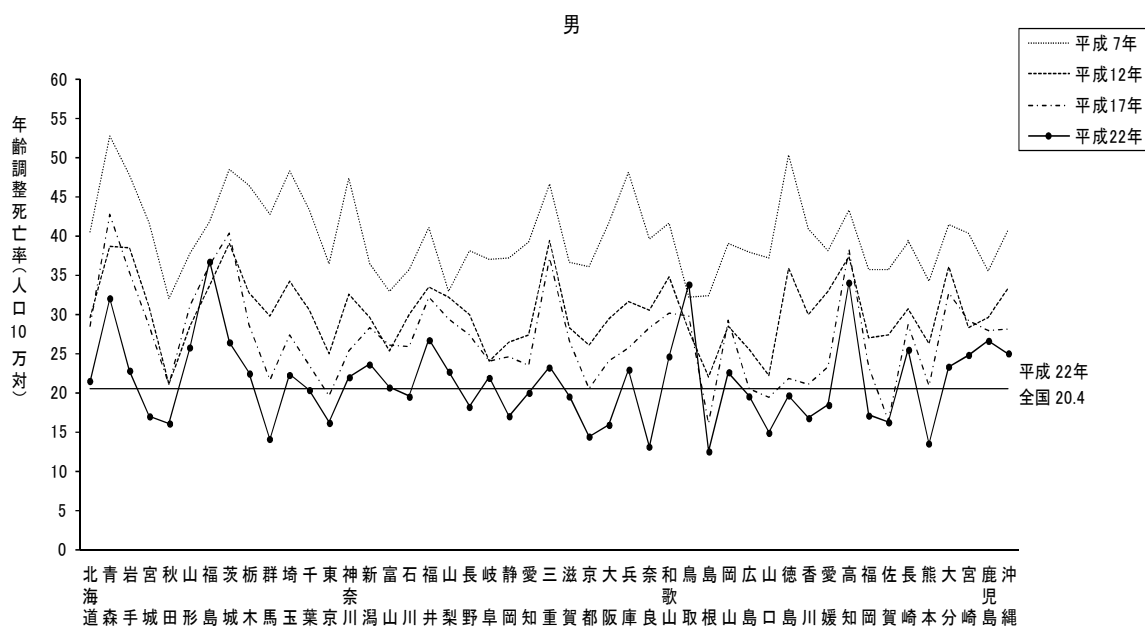


○急性心筋梗塞

平成 22 年の年齢調整死亡率をみると、男は島根、奈良、熊本等で低く、福島、高知、鳥取等で高くなっており、女は島根、熊本、京都等で低く、福島、長崎、鳥取、高知等で高くなっている。

平成 17 年と 22 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 25.9 から 20.4、女は 11.5 から 8.4 と低下しており、都道府県別では、男は 45 都道府県で、女は 46 都道府県で低下している。(図 12)

図 12 急性心筋梗塞の都道府県別年齢調整死亡率の年次比較
—平成7・12・17・22年—



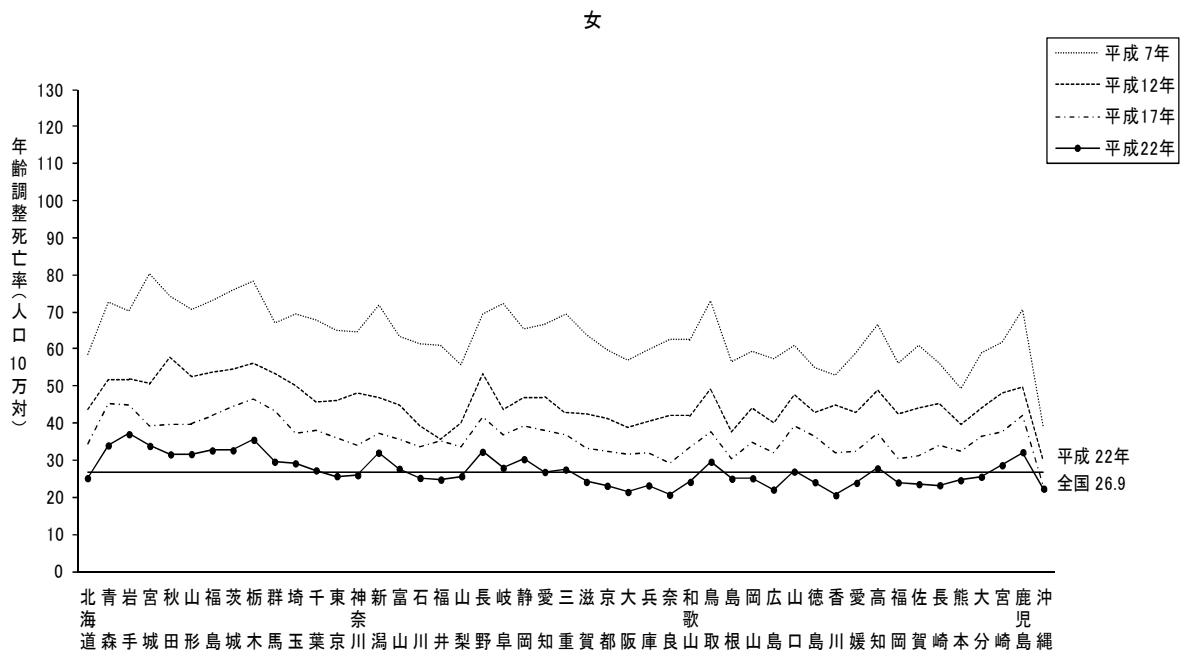
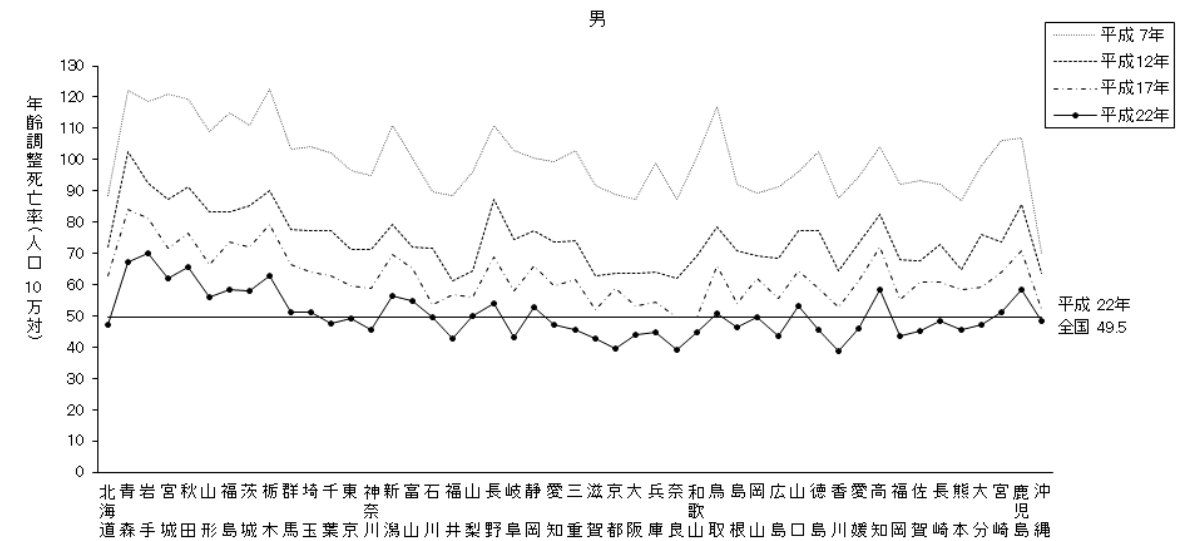
(3)脳血管疾患

平成 22 年の年齢調整死亡率をみると、男は香川、奈良、京都等で低く、岩手、青森、秋田等で高くなっており、女は香川、奈良、大阪等で低く、岩手、栃木、青森等で高くなって

いる。
平成 17 年と 22 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 61.9 から 49.5、女は 36.1 から 26.9 と低下しており、都道府県別では、男女とも全都道府県で低下している。

(図 13)

図 13 脳血管疾患の都道府県別年齢調整死亡率の年次比較
—平成7・12・17・22年—

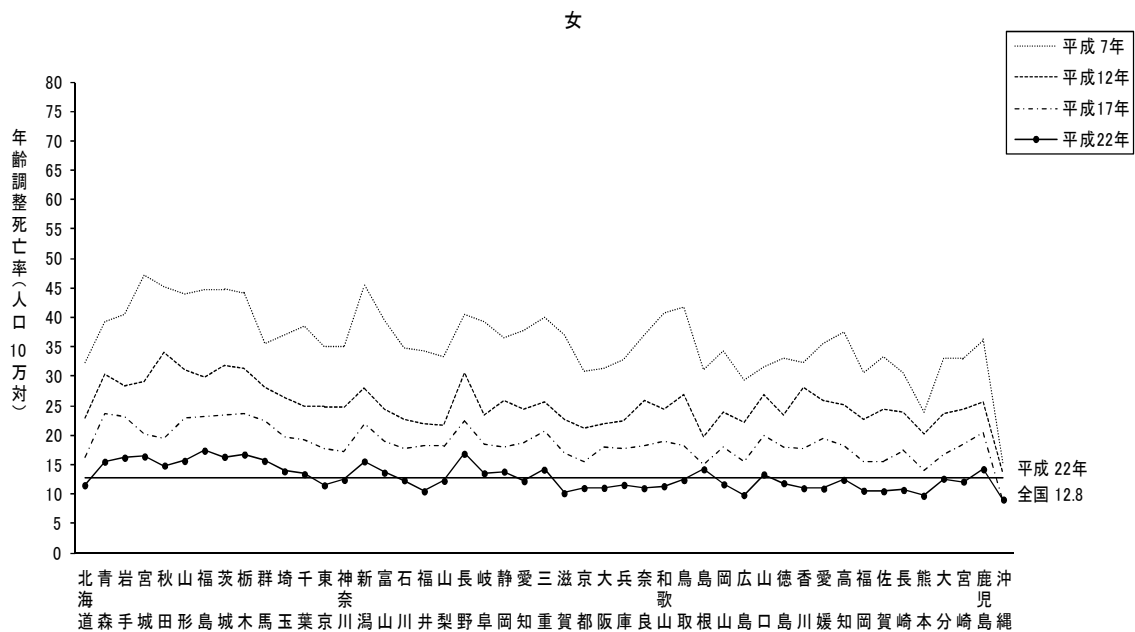
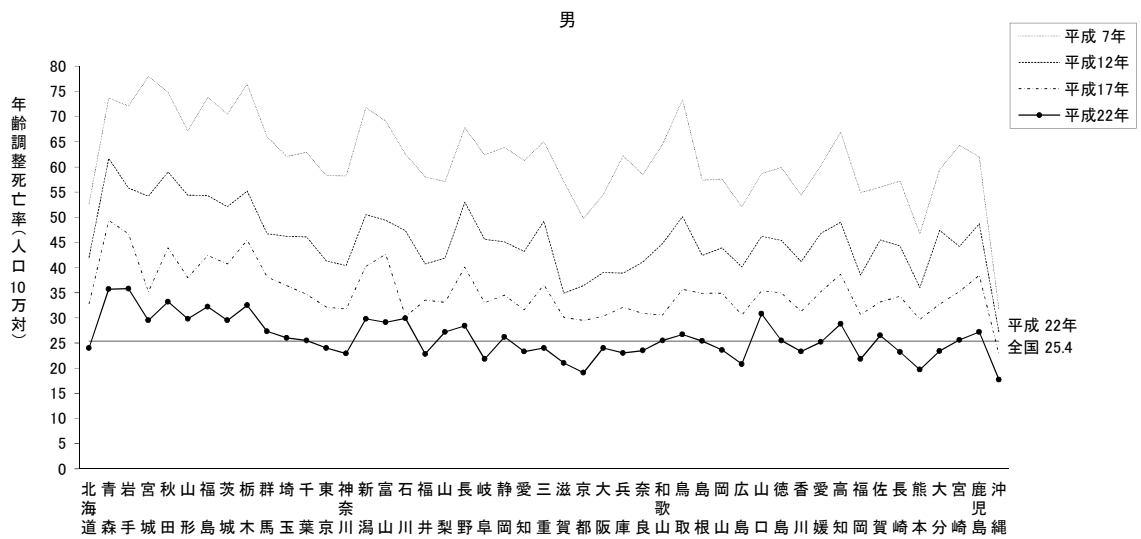


○脳梗塞

平成22年の年齢調整死亡率をみると、男は沖縄、京都、熊本等で低く、岩手、青森、秋田等で高くなっており、女は沖縄、熊本、広島等で低く、福島、長野、栃木等で高くなっている。

平成17年と22年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は34.5から25.4、女は18.6から12.8と低下しており、都道府県別では、男は全都道府県で、女は46都道府県で低下している。(図14)

図14 脳梗塞の都道府県別年齢調整死亡率の年次比較
—平成7・12・17・22年—

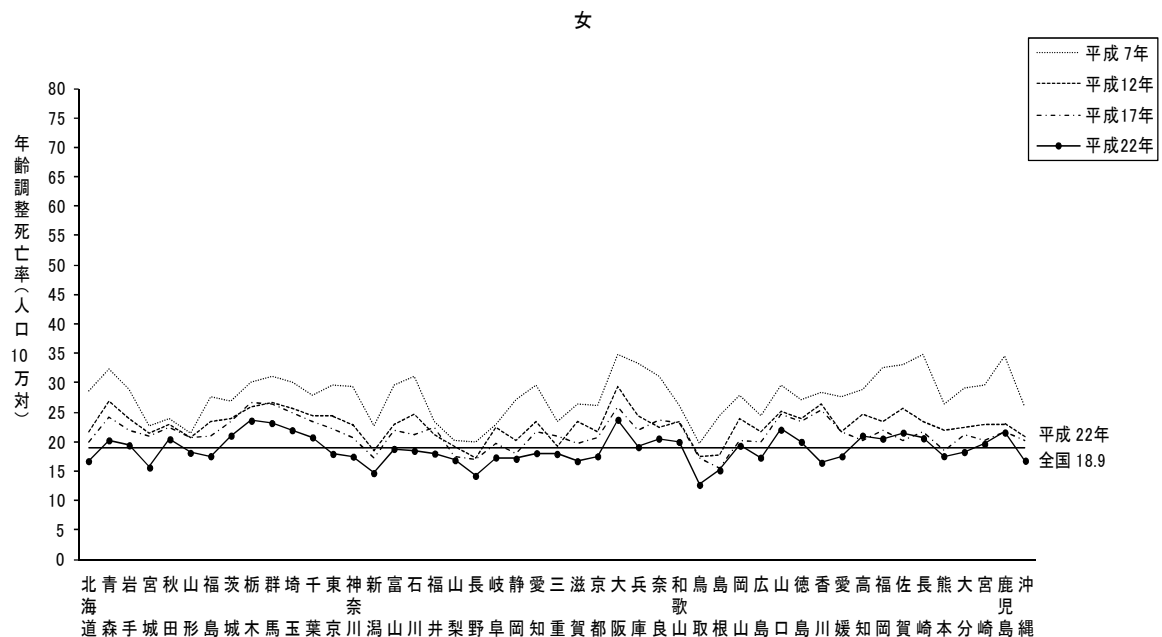
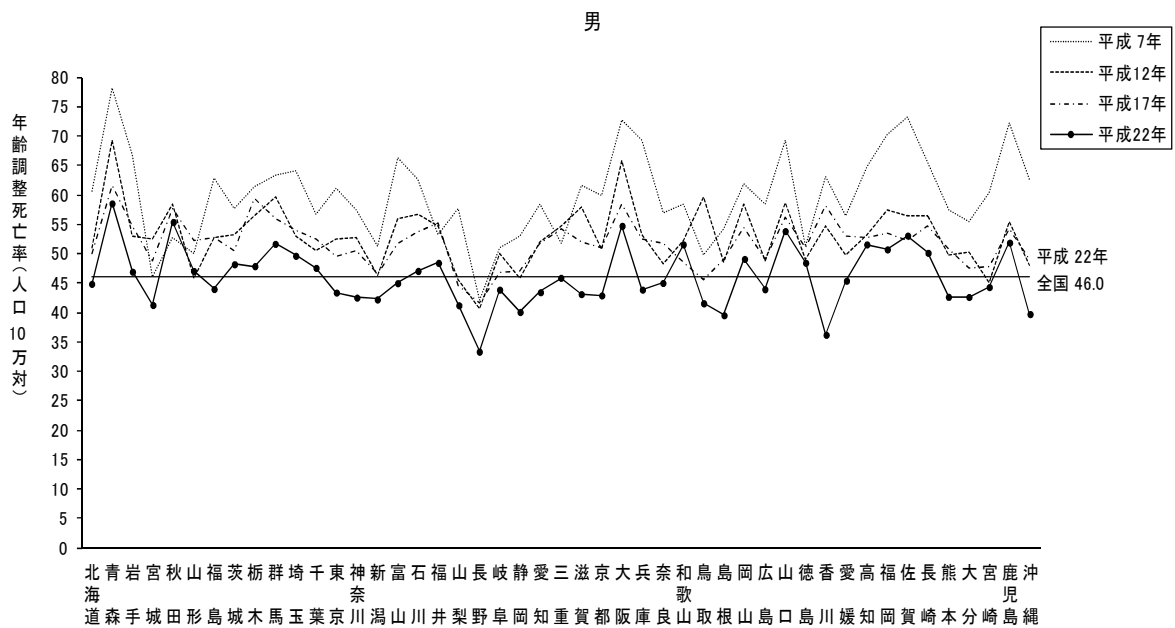


(4)肺炎

平成 22 年の年齢調整死亡率をみると、男は長野、香川、島根等で低く、青森、秋田、大阪等で高くなっており、女は鳥取、長野、新潟等で低く、大阪、栃木、群馬等で高くなっている。

平成 17 年と 22 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 51.8 から 46.0、女は 21.6 から 18.9 と低下しており、都道府県別では、男女とも 45 都道府県で低下している。(図 15)

図 15 肺炎の都道府県別年齢調整死亡率の年次比較
—平成7・12・17・22年—

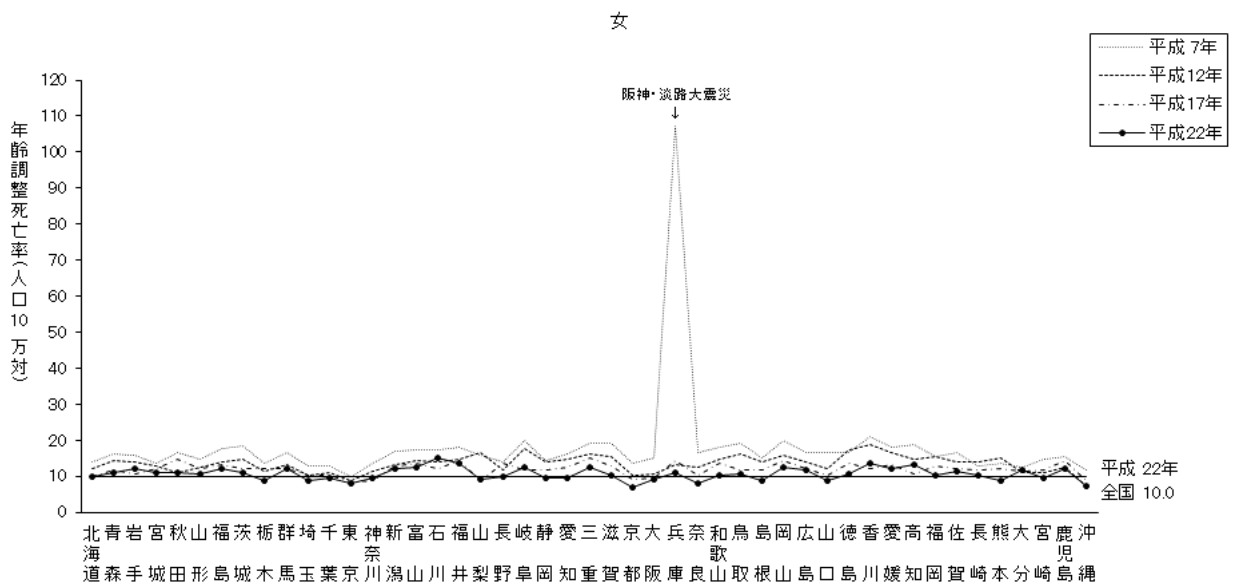
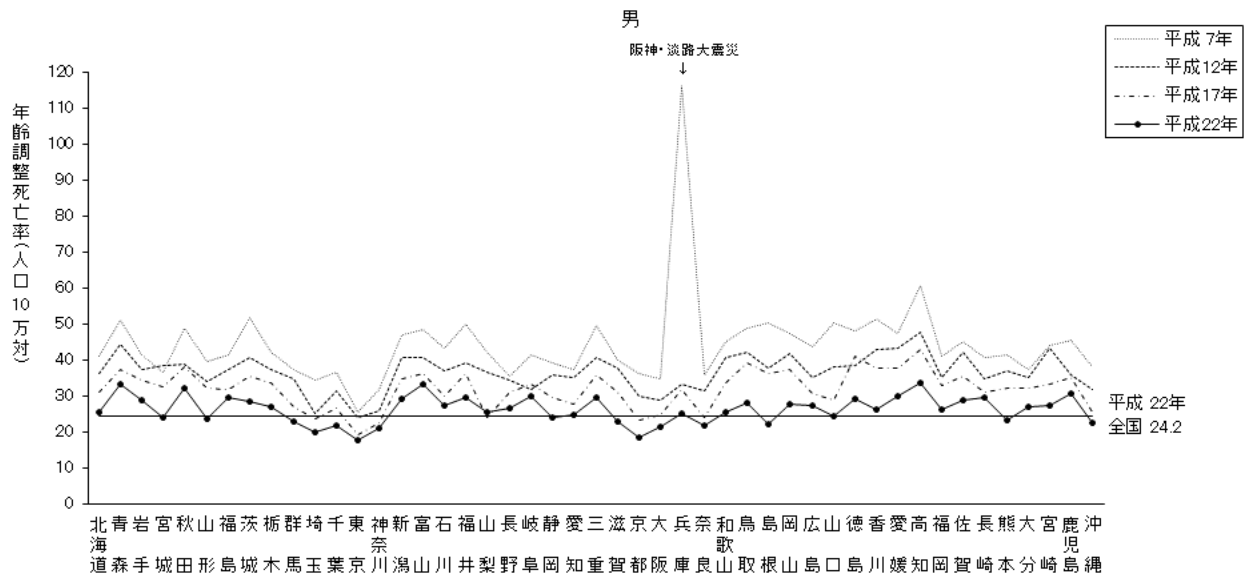


(5)不慮の事故

平成 22 年の年齢調整死亡率をみると、男は東京、京都、埼玉等で低く、高知、富山、青森等で高くなっており、女は京都、沖縄、東京、奈良等で低く、石川、香川、福井等で高くなっている。

平成 17 年と 22 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 28.9 から 24.2、女は 11.3 から 10.0 と低下しており、都道府県別では、男は 46 都道府県で、女は 38 都道府県で低下している。(図 16)

図 16 不慮の事故の都道府県別年齢調整死亡率の年次比較
—平成7・12・17・22年—

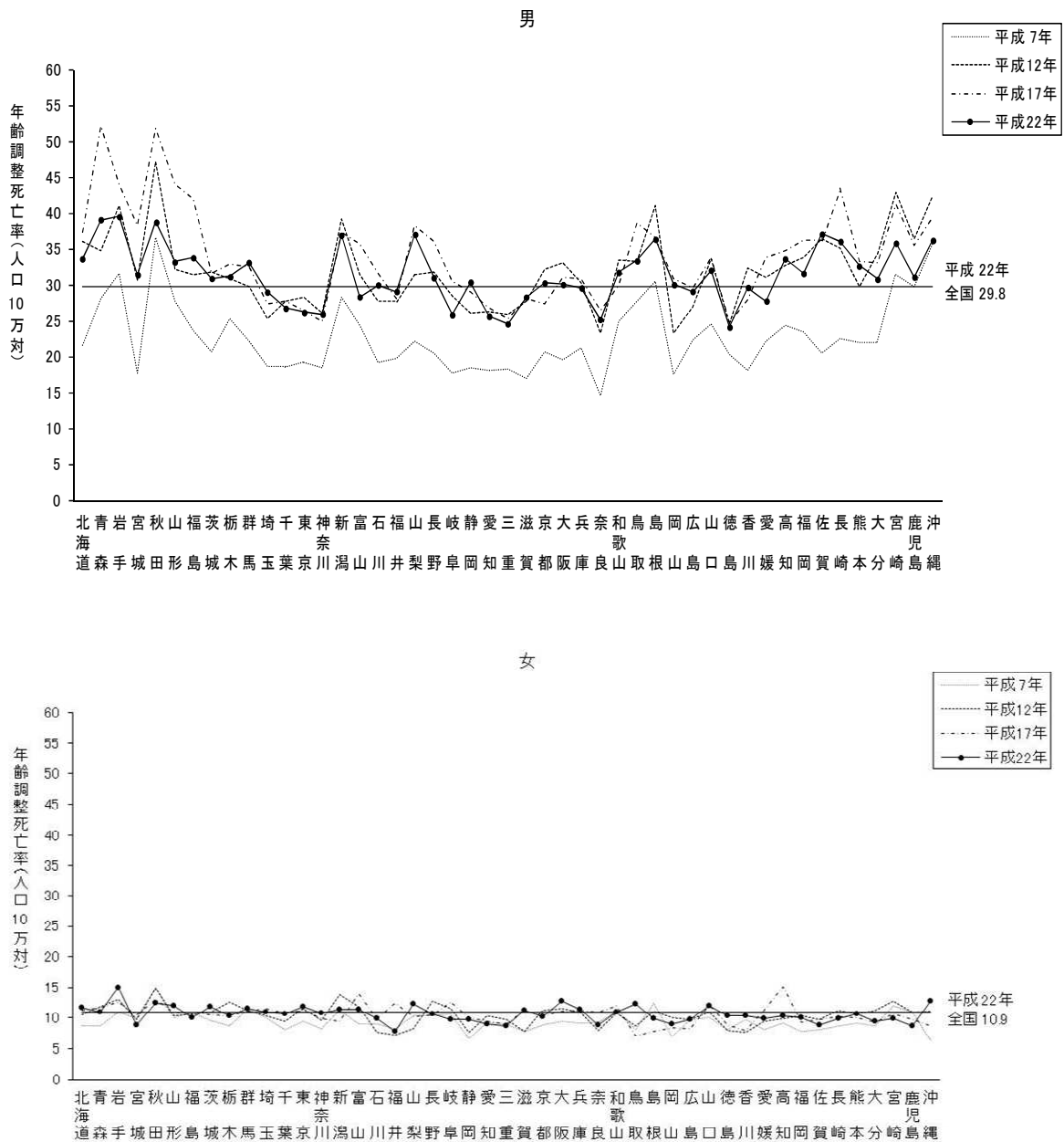


(6)自殺

平成 22 年の年齢調整死亡率をみると、男は徳島、三重、奈良等で低く、岩手、青森、秋田等で高くなっており、女は福井、鹿児島、三重等で低く、岩手、沖縄、大阪等で高くなっている。

平成 17 年と 22 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 31.6 から 29.8 と低下しているが、女は 10.7 から 10.9 と上昇しており、都道府県別では、男は 37 都道府県で低下しているが、女は 24 都道府県で上昇している。(図 17)

図 17 自殺の都道府県別年齢調整死亡率の年次比較
—平成7・12・17・22年—

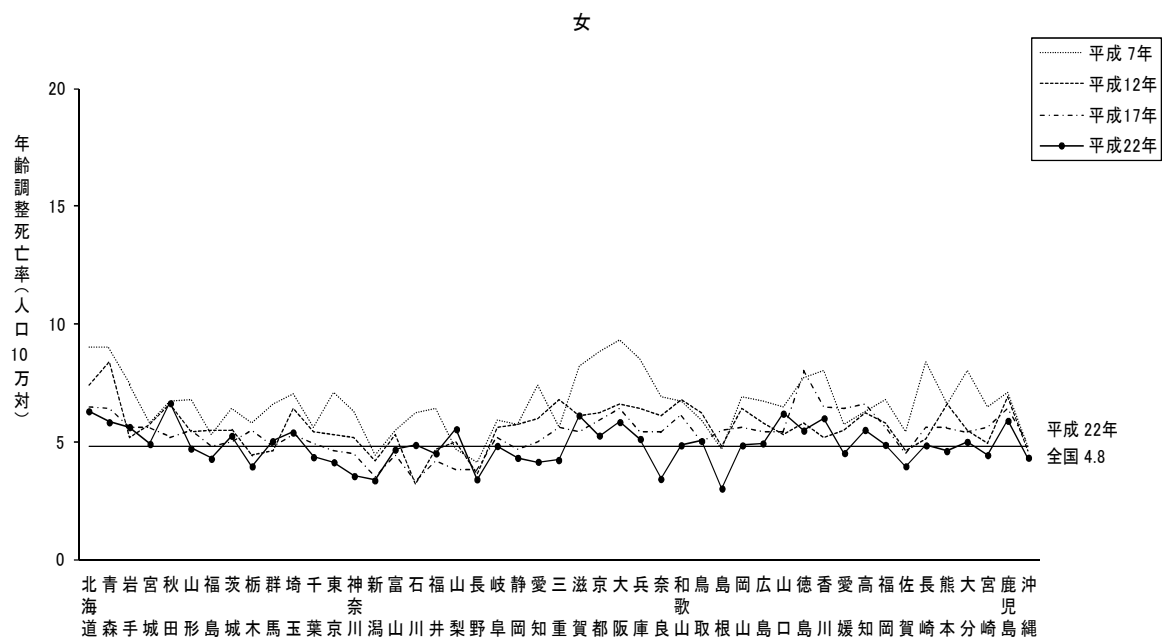
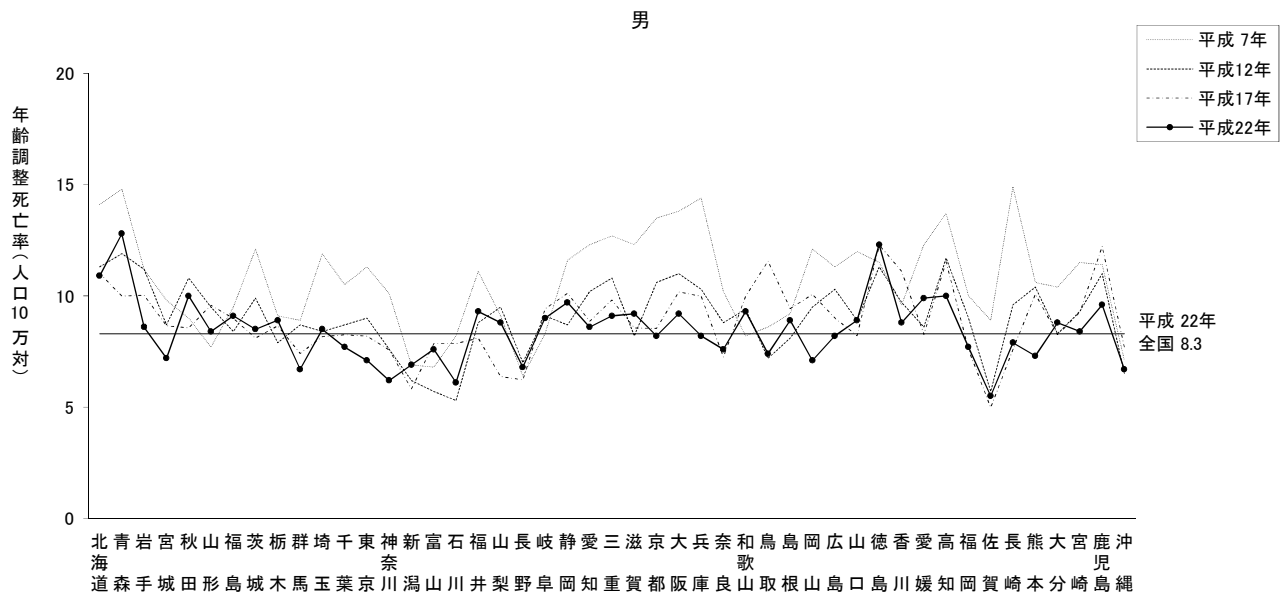


(7)腎不全

平成22年の年齢調整死亡率をみると、男は佐賀、石川、神奈川等で低く、青森、徳島、北海道等で高くなっており、女は島根、新潟、長野、奈良等で低く、秋田、北海道、山口等で高くなっている。

平成17年と22年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は8.8から8.3、女は5.3から4.8と低下しており、都道府県別では、男は29都道府県で、女は36都道府県で低下している。(図18)

図18 腎不全の都道府県別年齢調整死亡率の年次比較
—平成7・12・17・22年—

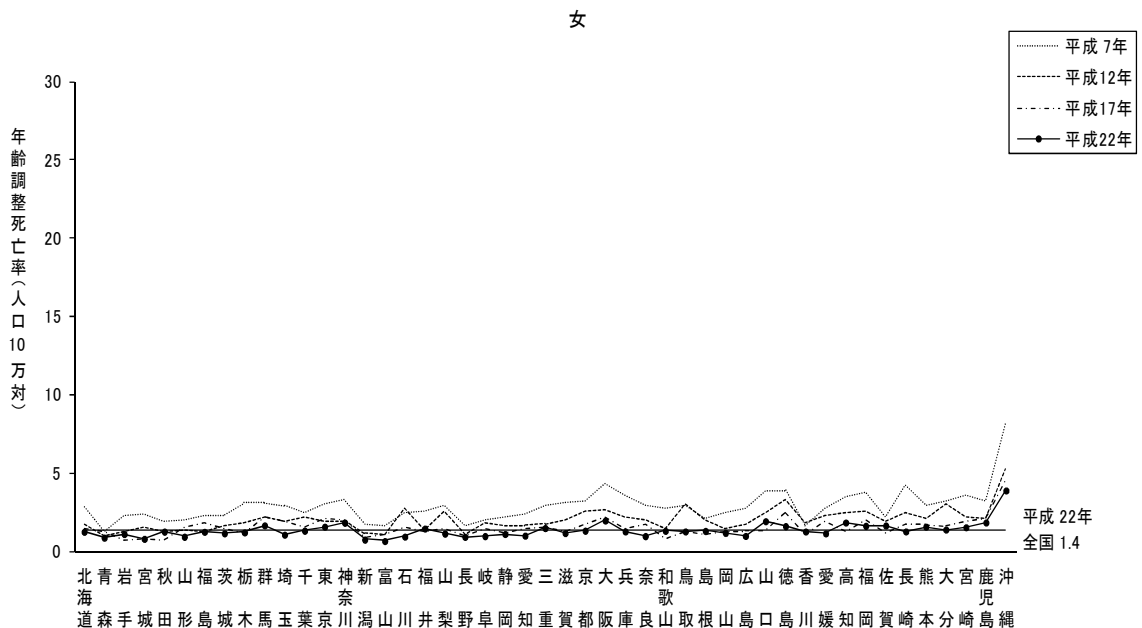
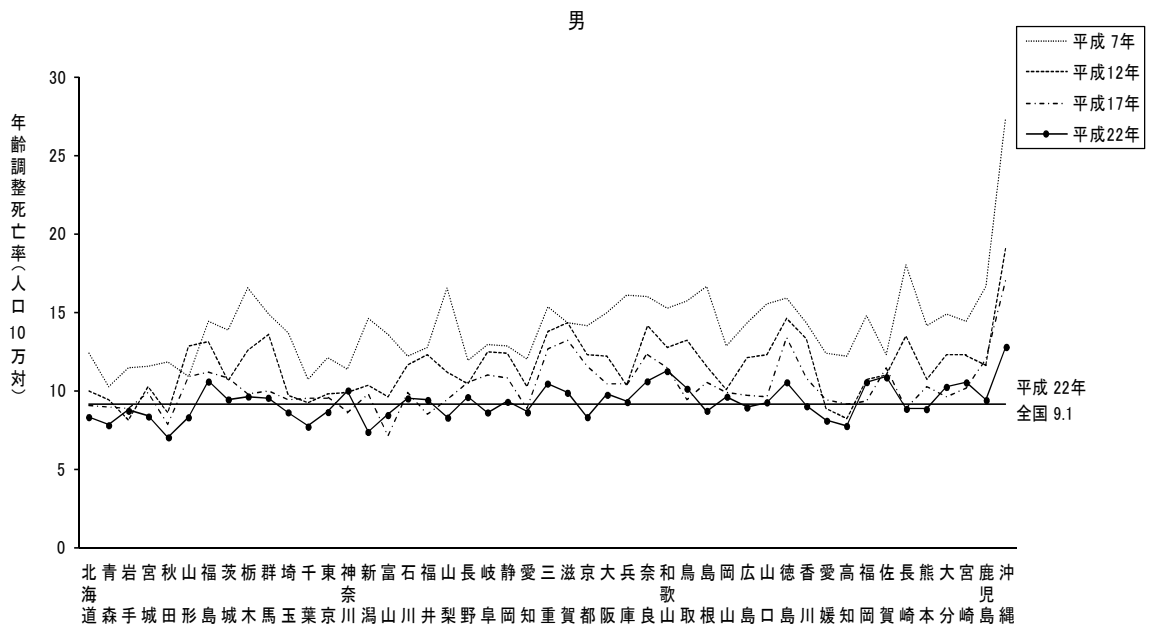


(8)慢性閉塞性肺疾患

平成 22 年の年齢調整死亡率をみると、男は秋田、新潟、千葉、高知等で低く、沖縄、和歌山、佐賀等で高くなっており、女は富山、新潟、宮城等で低く、沖縄、大阪、山口等で高くなっている。

平成 17 年と 22 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 10.0 から 9.1、女は 1.6 から 1.4 と低下しており、都道府県別では、男は 39 都道府県で、女は 37 都道府県で低下している。(図 19)

図 19 慢性閉塞性肺疾患の都道府県別年齢調整死亡率の年次比較
—平成7・12・17・22年—

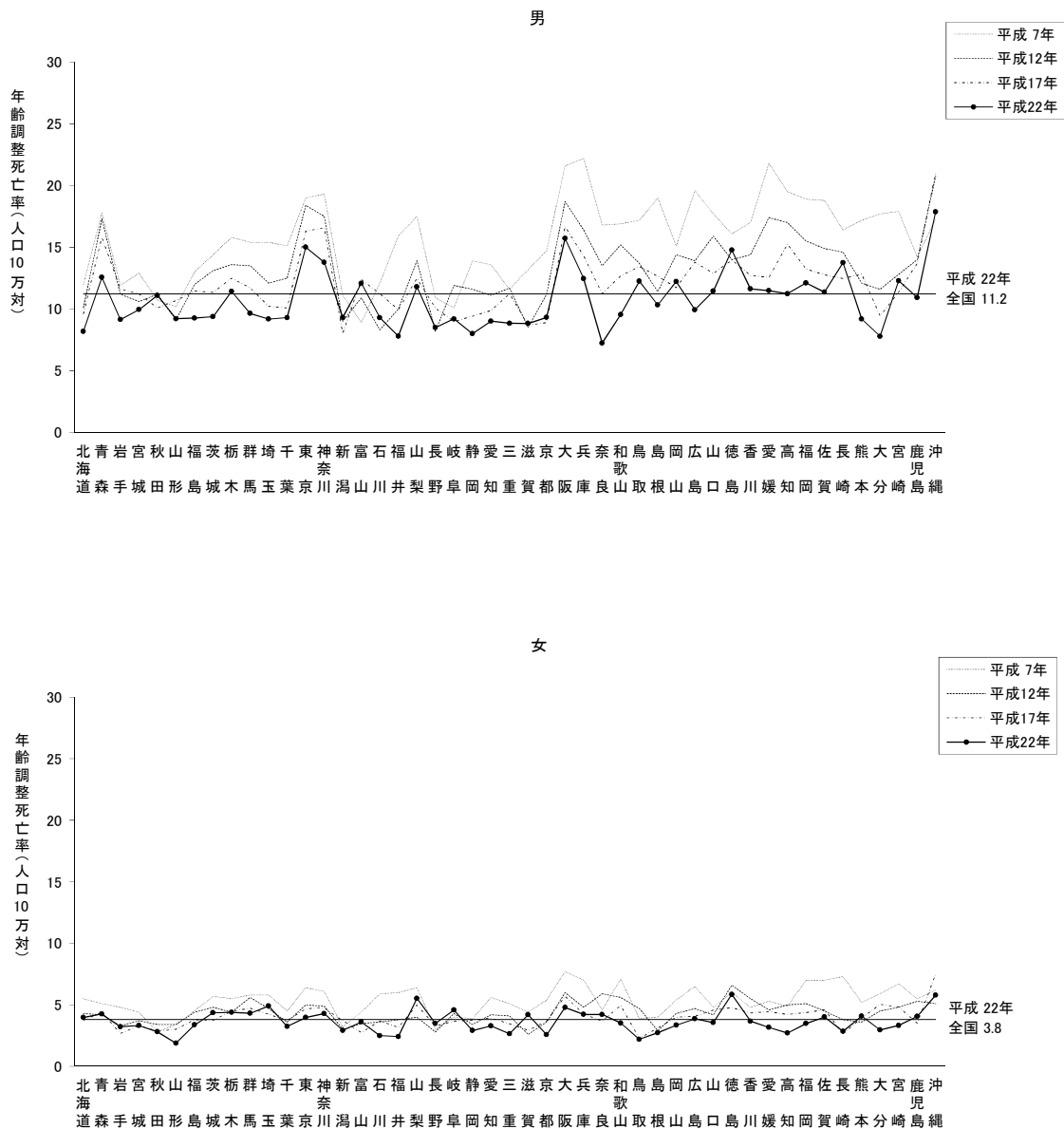


(9) 肝疾患

平成 22 年の年齢調整死亡率をみると、男は奈良、大分、福井等で低く、沖縄、大阪、東京等で高くなっており、女は山形、鳥取、福井等で低く、徳島、沖縄、山梨等で高くなっている。

平成 17 年と 22 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 12.6 から 11.2、女は 4.2 から 3.8 と低下しており、都道府県別では、男は 38 都道府県で、女は 32 都府県で低下している。(図 20)

図 20 肝疾患の都道府県別年齢調整死亡率の年次比較
—平成7・12・17・22年—



(10)糖尿病

平成 22 年の年齢調整死亡率をみると、男は滋賀、奈良、広島等で低く、青森、茨城、山梨等で高くなっており、女は熊本、佐賀、大分等で低く、徳島、香川、静岡等で高くなって

いる。
平成 17 年と 22 年の年齢調整死亡率を比較すると、全国では男は 7.3 から 6.7、女は 3.9 から 3.3 と低下しており、都道府県別では、男は 31 都道府県で、女は 38 都道府県で低下している。(図 21)

図 21 糖尿病の都道府県別年齢調整死亡率の年次比較
—平成7・12・17・22年—

